

船橋市運動公園・法典公園指定管理者内部評価 評価結果シート

施設名	船橋市運動公園・法典公園
指定管理者	ふなスポ活き生きパークパートナーズグループ
評価対象年度	令和6年度
所管課	都市整備部 公園緑地課 生涯学習部 生涯スポーツ課

総合評価	評価の理由
A	評価表の評価項目中、A評価41項目となり、ふなスポフェスタやふなばし三番瀬海浜公園との共同イベント等の様々な自主事業を開催し、利用者拡大に努めていた。また、施設の維持管理についても定期的なメンテナンスを実施し、適切な維持管理を行うことができていたことから、概ね事業計画どおり管理運営がなされているといえるため、A評価とした。

※総合評価は「施設所管課による評価」だけを対象に評価する

※総合評価で評価項目が混在する場合の基準は下記「総合評価の基準」を適用します

総合評価の基準	
S	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合以上である
A	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合未満である 事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合以上である
B	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合より少ない 事業計画に基づく評価表の評価項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合以上である
C	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合より少ない
D	上記に関わらず、事業計画に基づく評価表の評価項目内に一つでもDがある場合

項目別評価状況	
S	事業計画以上の優れた管理運営がなされている
A	概ね事業計画どおりに管理運営がなされている
B	概ね事業計画どおりに管理運営がなされているが、一部軽易な改善事項あり
C	事業計画どおりの管理運営がなされておらず、早急な改善を要する
D	指定の取消しをせざるを得ないような不適切な管理運営がなされている

品質管理把握状況

各種報告書の提出状況の確認	基本協定書に定めている期日内に確認
現地把握調査	時機に応じて実施
意見交換会の実施	毎月第3火曜日に実施
利用者アンケート	通年実施
事業報告書提出日	令和7年5月25日
ヒアリング期間	令和7年5月25日～令和7年7月1日

指定管理者による自己評価	記入日	令和7年5月25日
所管課による評価	評価日	令和7年7月1日

<項目別評価表>

評価項目	指定管理者による自己評価	担当課による評価	担当課による評価の理由
中項目 1.管理運営の基本方針			
小項目 1.基本方針の理解			
(1)施設の設置目的を十分に理解し、管理運営を行っている。	A	A	船橋市都市公園条例第3条第4項に基づく各種利用に供する目的について理解し、管理運営を行っていた。
小項目 2.都市公園としての機能を良好な状態に保てる計画及び実現性			
(1)誰もが安全に安心して利用できる維持管理が行われている。	A	A	体育施設や設備のメンテナンスを定期的に行い、利用者が安全に施設を利用できるような管理を行っていた。 園内巡回を日中に4回、その他夜直点検を実施し、公園全体の安全管理を行っていた。
(2)運動公園・法典公園それぞれの特性を踏まえた維持管理が行われている。	A	A	運動公園プールの水質管理や、法典公園球技場の人工芝メンテナンスなど、各施設の特性を踏まえた管理を行っていた。
小項目 3.本市を代表する施設として、市民大会等の市事業における市と連携を図った管理運営			
(1)本市が主催・支援するイベントや市民大会等における施設利用時の協力体制が整っている。	A	A	大会主催者と計画的な打ち合わせを行うことができていた。 必要に応じ施設メンテナンスを行うなど、協力体制が整っていた。
小項目 4.スポーツ振興につながる事業実施			

評価項目	指定管理者による自己評価	担当課による評価	担当課による評価の理由
(1)本市のスポーツ振興や施設を通じた地域活性化に寄与するものとなっている。	A	A	ふなスポフェスタ等の全世帯を対象としてイベントを実施し、地域活性化を図っていた。
(2)各種スポーツ団体・企業と連携し事業実施されている。	A	A	千葉ジェッツふなばし・千葉スカイセイラーズ・近隣施設の指定管理者と連携し、イベントやスポーツ教室等を開催していた。
中項目 2.業務計画			
小項目 1.施設及び設備の維持管理			
(1)維持管理体制が、施設を維持する上で把握されたものになっている。	A	A	分担された管理業務はグループ構成企業や専門協力業者によって適切に維持保守点検・修繕工事が行われ、指摘のあった箇所は都度修繕し、月毎の定例会で報告されている。
(2)常に施設を安定して提供できるような体制や人員配置、計画となっている。	A	A	事前に施設利用状況等を確認し、適切な人員配置を行っていた。また、災害等の緊急時に市や関係企業へ円滑に連絡するために体制を整えている。
(3)清掃について、経費節減に努め、かつ、施設の快適性や魅力の向上に寄与するものとなっている。	A	A	定期的に清掃作業を行っていたことや、職員の清掃意識が高いことから、利用者が施設を快適に利用することができていた。
(4)エネルギー使用量の削減、廃棄物の抑制等、環境への配慮がなされている。	A	A	利用者が施設を利用していない時間帯の照明設備を消灯するなど、エネルギー使用量の削減を徹底していた。
小項目 2.利用者の平等な利用確保及びサービスの向上			

評価項目	指定管理者による自己評価	担当課による評価	担当課による評価の理由
(1)利用しやすい施設運営を考えている。	A	A	窓口やホームページ、お客様BOX等でいただいたご要望を受け、施設運営の改善を図っていた。 受付窓口や電話での問合せや運動公園HP及び本社お客様センターでの受け入れと、お客様の声BOX等のツールから対面でなくても声を受け入れ、一件毎に返答・回答を実施していた。また、要望や意見は月毎の定例会で報告されていた。
(2)利用者からの要望・苦情等に対処する体制がとられており、迅速・丁寧・誠意のある行動で対応している。	A	A	各種問い合わせに対する対応状況を施設内に掲示し、迅速・丁寧・誠意のある対応をとっていた。
(3)本市要領や関係法令等に基づき、障害者差別の解消に係る適切な対応がなされている。	A	A	障害のある方が、安全に施設を利用できるように介助者同伴での利用を可能とするなどの配慮を行っていた。
小項目 3.利用者等の安全確保			
(1)事故防止対策など安全対策が考慮されている。	A	A	巡回チェックリストを作成し、日常点検を実施していた。巡回時に発見した施設等の破損については早急に修繕するなど適切に対応していた。
(2)事故発生時の対応が考慮されている。	A	A	警察、消防等と連携し事故対応を適切に実施していた。また、市への事故報告についても早急に対応していた。 事故発生時の対応マニュアルに沿って迅速かつ適切に対応していた。また、事案毎に市への報告も速やかにされていた。
(3)災害、事故、犯罪、感染症等の非常事態に対応するマニュアルを作成し、職員で共有が図られている。	A	A	緊急時対応マニュアルに沿って対応していた。

評価項目	指定管理者による自己評価	担当課による評価	担当課による評価の理由
小項目 4.利用促進の方策			
(1)利用者拡大、サービスの向上に独自の創意工夫が見られる。	A	A	千葉ジェッツふなばしと連携したスポーツ教室や、指定管理者が企画した様々な自主事業により、利用者拡大に努めていた。
(2)利用者アンケート等により、ニーズを把握する方策がとられている	A	A	イベント開催時における利用者アンケートの実施や、お客様の声BOXを設置することで利用者のニーズを把握することができていた。
(3)施設や事業に関心を持ってもらうため、積極的かつ効果的な広報活動を行っている。	A	A	広報ふなばしへの掲載や、指定管理者のホームページ、SNSを活用し効果的な広報活動を行っていた。
小項目 5.本施設ならではの自主事業の実施			
(1)施設の設置目的を十分に理解した内容である。	A	A	利用者のニーズに合わせたイベントや教室を開催しており、各施設の特色を生かした自主事業を行っていた。
(2)魅力ある自主事業となっている。また、参加しやすいような創意工夫がとられている。	A	A	競技経験者・未経験者で教室のクラス分けを行うなど、利用者が参加しやすいような工夫がなされていた。
(3)利用者への公平性について考慮された実施内容となっている。	A	A	利用者からの参加希望が多い教室等については、開催数を増加させることで公平に参加できるよう計画されていた。
(4)自主事業の収支に対する考え方が適切である。	A	A	必要経費を加味し、利用者が参加しやすい料金設定がなされていた。
小項目 6.駐車場の管理運営			
(1)適切に料金徴収を行える管理運営体制となっている。	A	A	駐車場内に精算機を導入し、適切に料金徴収を行っていた。

評価項目	指定管理者による自己評価	担当課による評価	担当課による評価の理由
(2)混雑時においても安全に利用できるよう適切な対策を行っている。	A	A	混雑が予想されるイベント開催時には、駐車場入口付近に誘導警備員を配置するなど、適切な対策を講じていた。
(3)迷惑駐車や路上駐車等に対し、適切な対処を行っている。	A	A	自動車での来場が増加する運動公園プール開催時には、迷惑駐車を禁止する旨の看板を近隣店舗へ設置することや、警備員を配置することで迷惑駐車への対策を講じていた。
中項目 3.事務管理計画			
小項目 1.従事者の配置計画			
(1)組織、人員配置が適切である。	A	A	計画のとおり組織し、適切に人員配置されていた。
(2)専門性を理解した配置となっている。	A	A	管理運営に必要な有資格者や経験者を配置し、適切な人員配置を行っていた。
(3)閑散期・繁忙期等に合わせた柔軟な人員配置を行うことで、利用者サービスの確保を図るとともに、人件費が過大とならないよう努めている。	A	A	イベント開催時や、運動公園プールの開場期間には人員を増やし、適切な人員配置を行っていた。
小項目 2.従事者の教育と研修計画			
(1)利用者等への接遇向上、管理運営に必要な資格の取得等に必要な従事者教育や研修が行われている。	A	A	研修計画に沿って、研修や従事者教育を適切に実施していた。また、独自で自主事業研修を実施していた。
(2)サービス基準の確保のため、接遇対応マニュアル等が作成され、活用されている。	A	A	利用者サービス向上を図るために研修を実施し、従業員の教育を徹底していた。 社内で独自のCS研修を年2回実施していた。
小項目 3.従事者に対する労働条件等の対応			

評価項目	指定管理者による自己評価	担当課による評価	担当課による評価の理由
(1)福利厚生について適正に配慮されている。	A	A	有給休暇等を活用しワークライフバランスを徹底していた。 また、社員向けの様々な補助制度があり、適切に行っていた。
(2)従事者に対する労働条件は適正であり、雇用に関しての基準や体制が確立している。	A	A	雇用に係る基準を明確に定めていた。臨時職員等の採用にあたっては雇用条件の説明を行っていた。
小項目 4.連絡体制			
(1)管理運営に際し、責任者や各職員の業務分担が明確になっており、指揮命令系統が確立されている。	A	A	当初事業計画に基づき、適切に役割を行っていた。
小項目 5.個人情報の取扱い			
(1)関係法令に基づき、個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じている。	A	A	ルールに基づき、適切に個人情報の管理がされていた。
(2)個人情報の適正な取り扱いについて、職員に対する研修等を実施している。	A	A	年度研修計画に沿って研修を実施していた。
中項目 3.事務管理計画			
小項目 1.収入見込			
(1)利用料金等の収入見込が適切である。	A	A	運動公園陸上競技場の改修工事等に伴い利用料収入が減収となったが、法典公園については概ね適切であった。
(2)利用料金等の収入に係る適切な帳簿管理を行っている。	A	A	各種システムが構築され、収入漏れなどなく適切に管理を行っていた。
小項目 2.支出見込			
(1)事業費の支出見込が適切である。	A	A	物価上昇等の影響により支出見込みとの乖離はあるが、概ね適切であった。

評価項目	指定管理者による自己評価	担当課による評価	担当課による評価の理由
(2)支出に係る適切な帳簿管理を行っている。	A	A	支払漏れなどもなく、適切に管理を行っていた。
小項目 3.事業費の縮減に関する創意工夫			
(1)創意工夫により経費の削減に努めている。	A	A	物価高騰等の支出増加の原因があるなかで、外部委託を極力少なくし、自前で修繕等の対応をし、自主事業も自ら開催できるものは行うことにより、経費の削減に努めていた。